

17世紀後半から18世紀初頭の イギリスにおける販売の 実態と消費スタイル

——検認遺産目録中の商品在庫の分析を中心に——

岡 部 芳 彦

要 約

本稿の目的は、イギリスの検認遺産目録の中に残されている17世紀後半から18世紀初頭にかけてのイギリス各地の店舗（shop）の内容を分析することによって、販売の実態と消費スタイルを検討することである。

N・コックスによれば、近代初頭の多くの店舗において、窓は商品が通過する販売経路であり、重要視されていた。それは、イングランドでガラス製造がはじまった後も、地方都市の商店の遺産目録に格子戸か錠戸が記されていることからわかる。店舗の窓を通じた商品の展示販売は、顧客を引き付ける効果的な方法であり、素早く販売が行えるため効率が良かった。また、小売商は商品の幅を制限して販売をおこなうことも出来た。

しかし今回、ブリストル、バッキンガムシャー、ストラトフォード・アポン・エイヴォンの3地域の検認遺産目録中の店舗における商品在庫を分析した結果からは、少し異なった実態が浮かび上がってきた。まず、窓関連品と什器の分析からは、古くからの窓を通じた直接販売と、現在のウィンドーショッピング的な展示、また店内の展示販売といった消費スタイルが併存していた可能性が高いことがわかった。

また、服地小間物商 haberdasher であった Joel Jelson の検認遺産目録の

* 本稿はパネルディスカッション「歴史の中のワーク・ライフ・バランス——経済生活の多様性と社会経済史——」（社会経済史学会第79回全国大会，於：関西学院大学）の「17世紀～18世紀初頭のイギリスにおける消費スタイルの変化——検認遺産目録中の商品在庫を中心に——」を起稿したものである。当日は多くの先生方より貴重なご意見をいただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

17世紀後半から18世紀初頭のイギリスにおける販売の実態と消費スタイル

ケーススタディからは、17世紀後半のこの店舗では、消費者が多様な商品供給の中から、商品選択を楽しむことができた実態が窺える。

店舗という空間では、N・マケンドリックらが主張する18世紀消費革命以前の17世紀から、多種多様な商品を供給する店舗における販売と、商品選択を楽しみながらの購買といった「生活を楽しむ」2側面がすでに存在していたと考えられる。17世紀後半から18世紀初頭にかけての店舗は、ただ働く場所や商品を販売する場だけではなく、消費者が私生活をより豊かにするインターフェースとしての機能を果たしていたのである。

1 はじめに

本稿の目的は、イギリスの検認遺産目録の中に残されている17世紀後半から18世紀初頭にかけてのイギリス各地の店舗 (shop) の内容を分析することによって、販売の実態と消費スタイルを検討することである。

この20年あまりの間に地方レベルでの検認遺産目録の整理、原本を活字化する作業が史料協会 (Record society) とアーキビストによって精力的にすすめられ、多くの遺産目録集が出版されている。近年これらの刊行史料を使用し、多くの研究が行われるようになった。遺産目録を用いた研究では、L・ウェザリルなどによる品目の出現率を検討するものが有効な分析手法の一つである。ただ、史料としての検認遺産目録に対しては、一生涯の動産すべてがそこに含まれるストックの史料といった意見もあり、一定の傾向は見ることはできるが消費全体の分析には問題が残るといった声も少なくない。例えば、M・スパフォードは、遺漏の可能性や総数の未確定、また正確性への疑問などから遺産目録は史料として耐えうるのかという問題提起をおこなっている。⁽¹⁾ それに対しては、査定方法という観点から見れば、その内容の正確性はさほど低くないという見方も可能である。⁽²⁾

(1) Spufford, M. (1990), 'The Limitations of the Probate Inventory', in Chartres, J. (ed.), *English rural society, 1500-1800: essays in honour of Joan Thirsk*, Cambridge University Press, pp. 139-174.

遺産目録を含む検認記録全体では、最も多く残されている時期は17世紀から18世紀中期と考えられ、1700年以前の記録も見られる。この時期は新聞や小売業の広告は少なく、その販売方法や消費スタイルの実態を見ることができる具体的な史料は多くない。それに比べて検認遺産目録は18世紀より17世紀のほうが情報量が多い地域もあり、事例は少ないものの1550年まで遡って分析することも可能である。また、ロンドンなどの大都市だけではなく、イギリス各地域に残され、小規模な村落にも記録が残っている事例も見られる。

それらの史料批判、検認遺産目録の特徴や最近の研究動向を踏まえて、遺産目録を使用した新しい研究手法も登場している。例えば、P・ボウエンは、カーディフ一帯で、商人の遺産目録を抽出し、店舗と在庫に注目して内容の分析を行っている。⁽³⁾ 商店を持っていた者の遺産目録には、店舗の査定が行われているものが多い。店舗にあった商品在庫や備品は、それが店舗内にある性格上、日常生活用品に比べて価格が正確に査定された、あるいは出来た可能性が高い。N・コックスを中心とするウォルバーハンプトン大学の「商品と日用品の辞書（1550年～1820年）」プロジェクトにおいては、1228例の商人の検認遺産目録が使用された。⁽⁴⁾ それにより、N・マケンドリック、M・バークラによって盛んに研究されてきた18世紀消費革命までの間の消費者と購買の場所との関係、また商人活動の実態の解明を試みている。また、検認遺産目録からではないが、道重一郎氏も服飾小物商の経営実態を分析する際に、破産者の資産整理の記録に残された在庫に注目している。⁽⁵⁾

(2) 岡部芳彦「イギリス検認遺産目録の法的背景と査定方法」『大阪大学経済学』第59巻、第3号、2009年。

(3) Bowen, P. (2004), *Shopkeepers and Tradesmen in Cardiff and The Vale 1633-1857*, Bowen.

(4) Cox, N. (2000), *The Complete Tradesman: A Study of Retailing, 1550-1820*, Ashgate.

(5) 道重一郎「18世紀ロンドンの小売商と消費社会」『経営史学』第43巻第1号、2008年。その他に、ブリストルの遺産目録を使用した近年の研究として、和田将幸「ミドリング・ソートと消費——17世紀ブリストルの遺産検認目録から——」（『経

17世紀後半から18世紀初頭のイギリスにおける販売の実態と消費スタイル

それらの先行研究を踏まえ、本稿では検認遺産目録中の17世紀後半から18世紀初頭にかけてのイギリス各地域の店舗の内容を分析することによって、販売の実態と消費スタイルを検討したい。具体的には店舗における販売の実態を見るため、窓関連品と什器に注目する。店舗という空間では、消費を通じて販売者と消費者が存在し、労働と私生活・余暇をつなぐインターフェースとして販売（労働）と購買（私生活・余暇あるいは「生活を楽しむ」）という二つの側面が見られる。消費の中心であったロンドン以外の地域を検討することによって、地域経済という異なった角度からイギリスの消費社会の実態を分析してみたい。

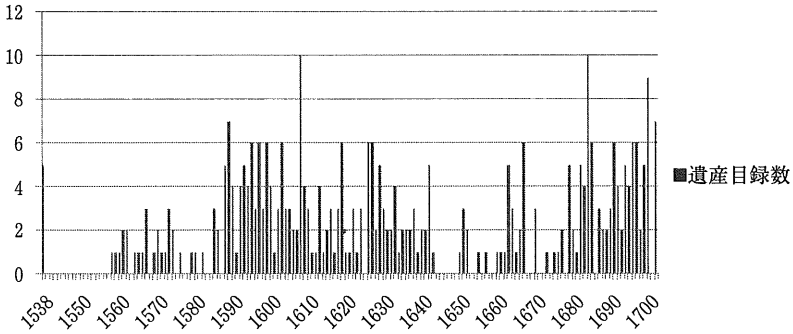
本稿の史料としては、可能なかぎり広範囲にイギリスの傾向をみるため、一地域だけでなく、ブリストル、バッキンガムシャー、ストラトフォード・アポン・エイヴォンの3つの検認遺産目録集を使用した。詳細を述べれば、ブリストルに関しては E & S・George 編纂の3つの検認遺産目録集から1657年-1700年までにかけて、バッキンガムシャーについては M・Reed 編纂のものから1661-1714年まで、ストラトフォード・アポン・エイヴォンは J・Jones 編纂のものから1649-1699年を対象とした⁽⁶⁾。この3つの地域とこの時期を対象とした理由は以下の通りである。

図1はナショナル・アーカイブスに残るウスター司教管区 (Bishop of

済学論』、第64巻第2号、2010年)がある。また、石井健「書物の地方史の試み——一七世紀末ヘリフォードの本屋の動産目録から——」(一橋大学社会科学古典資料センター・スタディー・シリーズ No. 44, 2000年)は、17世紀の本屋の財産目録や在庫目録に着目している。

- (6) George, E & S. (2002), *Bristol Probate Inventories Part I: 1542-1650*, Bristol Record Society's Publication Vol. 54. George, E & S with the assistance of P. Fleming (2005), *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, Vol. 57. George, E & S with the assistance of P. Fleming (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, Vol. 60. Reed, M. (ed.) (1988), *Buckinghamshire Probate Inventories 1661-1714*, Buckinghamshire Record Society. Jones, J. (ed.) (2003), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 2 1626-1699*, The Dugdale Society.

図1 ウスター司教管区の検認遺産目録の年度別残存数



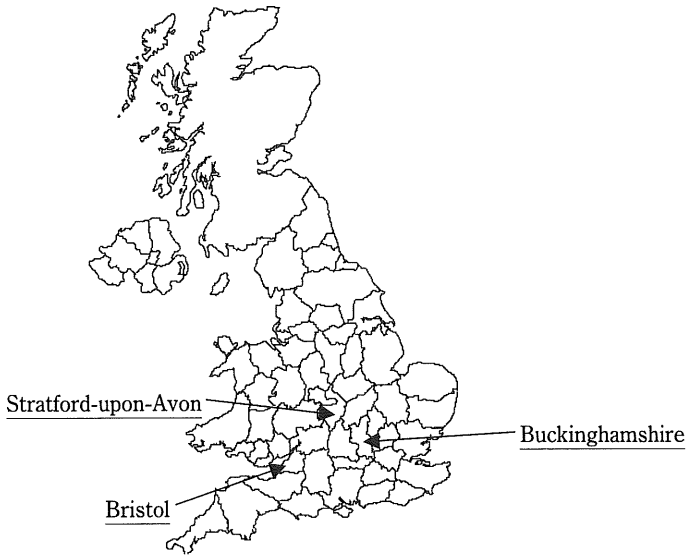
出典：Jones (2002), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 1 1538-1625*,
 Jones (2003), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 2 1626-1699*
 より作成
 ※総数346例。

Worcester's Court) の記録から編纂された検認遺産目録集346例の残存数を年度別にまとめたものである。年度別の残存数は地域によって若干異なるが、今回はこれを参照したい。⁽⁷⁾ 検認遺産目録が残された時期でイギリスに共通しているのは1650年代の大内乱期、つまりピューリタン革命の混乱期に全く作られない時期があったことである。図1を見れば、大内乱期を境に大きく2つの増加期があることが分かる。これらの増加期はサンプル数も多いため、分析対象として適している。遺産目録集が編纂される場合、その残存する期間すべてが対象となる場合もあれば、その一部という場合もある。今回、2度目の増加期である1650年代から1700年にかけての時期が含まれる遺産目録集を調べた。その結果、3つの地域の遺産目録集の年代が合致したため、これら进行分析対象とし⁽⁸⁾ た。それぞれの地域で遺産目録における店舗が記載された数は、ブリストルが

(7) その他、ブリストルの年度別残存数については、岡部芳彦「ブリストルにおける商工業の地域的展開——ブリストル執事管区の検認遺産目録を用いて——」『神戸学院大学経済学論集』第41巻、第1・2・3・4号、2010年、39頁参照。

(8) なお、編纂対象の範囲として都市、シャー、地域の違いはある。

図2 対象地域



出典：Free printable map, <http://printable-maps.blogspot.com/2008/09/uk-map-showing-counties.html>, 2010/6/2 閲覧・取得.

139例中37例、バッキンガムシャーでは159例中8例、ストラトフォード・アボン・エイヴォンは130例中9例であった。本稿ではそれらを対象に分析をすすめる。

2 店舗における販売の実態

(1) 窓越しの販売

コックスによれば、近代初頭の店舗の多くは、居宅の一番通りに面した部屋に置かれていた。⁽⁹⁾都市部の商店では2階に作られる事例も見られたが、一階の路面に面した店舗は、顧客にアピールする場所としては最適であった。小型店舗は単純な構造であり、実際に販売が行われた場所は、店内に台としておかれ

(9) Cox (2000), *The Complete Tradesman: A Study of Retailing, 1550-1820*, p. 78.

た樽の上か、シャッターのついた窓越しのカウンター上で行われた。⁽¹⁰⁾この店舗の形態は建築が容易かつ安価でもあり、夜間に閉店した際に安全でもあった。小型店舗において、窓は商品が通過する販売経路であり、重要視されていた。通りを歩く顧客に直接販売できたためである。また窓は店舗の開閉店を示すものとして捉えられ、例えば、1529年の理髪外科医の間での取り決めでは「窓が開く前に、何人もその店が空いていると思っ⁽¹¹⁾てはいけない」とされた。また、1646-47年にかけてノッティンガムでは、「この町では窓越しに商売をし、窓を閉めてすべきではない」とされた⁽¹¹⁾。

1557年にイングランドでガラス製造がはじまったにもかかわらず、18世紀以前はガラス使用量は伸びなかった。17世紀後半のロンドンの商店では、窓を覆うためガラスの使用が始まった。ガラスのコストはまだ高かったにもかかわらず、流行の商品の展示を窓際で行うことができた。しかし、地方都市の商店の遺産目録に、17世紀後半にガラス関連品が記録されていることは多くはない⁽¹²⁾。め、格子戸か錠戸が使用されていたと思われる。つまりロンドンの小売商のように、直近の流行のトレンドをすぐにガラスのはめられた窓際で展示販売できなかったのである。

しかし、地方の小売商にとって、ガラスを使用した窓際の展示がもっとも効果的な販売方法であったかはわからない。例えば18世紀に入って、ロンドンの家畜市場では、路上、屋台、店舗の販売が混在していたことからそれが窺え⁽¹³⁾る。また1780年代に至っても、行商人や呼び売り商人等を議会が規制する傾向にあったことからも、⁽¹⁴⁾さまざまな店舗形態と行商人による販売方法が消費者の

(10) モリー・ハリソン『買物の社会史』工藤政司訳、法政大学出版局、1990年、46頁。

(11) Cox (2000), *The Complete Tradesman: A Study of Retailing, 1550-1820*, p. 78.

(12) Weatherill, L. (1996), *Consumer Behaviour & Material Culture in Britain 1660-1760*, Routledge, p. 78.

(13) モリー・ハリソン『買物の社会史』工藤政司訳、104頁。

(14) Cox, N and Dannehl, K. (2007), *Perceptions of Retailing in Early Modern England*,

17世紀後半から18世紀初頭のイギリスにおける販売の実態と消費スタイル
チャンネルとして18世紀を通じて併存していたと思われる。

店舗の窓を通じた商品の展示販売は、顧客を引き付ける効果的な方法であり、またその店が開店して、販売していることも簡単に示すことができた。窓からの直接販売の利便性は、素早く行えるため、効率が良いと思われていた。また、消費者は商品の選択のために多くの時間を費やすことができず、小売商は商品の幅を制限して販売をおこなうことが出来た。そのため、窓を通じた商品販売は、消費者よりも小売商に利点が多かった。くわえて、顧客が中に入ることが必要な店舗とは逆に、店に入りたくない通行人も窓を通じて集客することが可能であったとも考えられる。

(2) 店舗 (shop) の分析

17世紀から18世紀にかけて、イギリスの地域における販売において窓が重要な役割を果たしてきたと思われるが、本節では実際に検認遺産目録を用いてその実態を分析してみたい。

今回、膨大な品目が記載されている検認遺産目録の中から、店舗 (shop) の記載があるものを抽出した。店舗を抽出した理由は、その中にあった商品在庫や備品は、それが店舗内にある性格上、日常生活用品に比べて価格と内容が正確に査定された、あるいは出来た可能性が高いと思われるからである。その店舗の中から、窓周りに関する品目と店舗で商品を陳列する仕器の2種類を選出した。まず窓周りに関する品目に着目した理由は、窓際の実売方法が当時は多くの商品で見られ、それが迅速で一定の合理性が働いていたと考えられるためである。つぎに仕器の選出理由であるが、これまで小売店の分析が行われる際に取り上げた研究があまり多くないこと、それを見れば当時の店舗がどのような販売形態であったのかが分かると考えたためである。

表1, 2, 3は順にプリストル, バッキンガムシャー, ストラトフォード・

Ashgate, pp. 52-54.

アボン・エイヴォンにおける職業、遺産目録の公開年、窓関連品、什器数、在庫品目数をまとめたものである。備考欄には窓関連品と什器の品目名を記載した。まず、窓関連品についてそれぞれの地域を見てみよう。表1のプリストル

表1 プリストル遺産目録中の窓関連品・什器・在庫品目数

職業	公開年	窓関連品	什器	在庫品目	備考
1. N/A	1658	0	1	7	主な什器：hogdshead
2. Cutler	1662	0	0	102	
3. Mercer	1663	0	2	11	主な什器：shop chest
4. Baker	1665	0	3	5	主な什器：shelves
5. Clothier	1666	0	5	52	主な什器：chest, shelves
6. Taylor	1668	0	2	45	主な什器：chest
7. N/A	1672	0	4	9	主な什器：desk, その他：鏡
8. Naler	1673	0	0	16	
9. N/A	1673	0	2	9	主な什器：tobacco board
10. N/A	1675	0	0	17	
11. N/A	1675	0	1	13	主な什器：shop chest
12. Glazier	1676	0	2	1	主な什器：iron casements
13. Felt-maker	1677	0	0	3	
14. Armspainter	1677	0	1	6	主な什器：chest
15. N/A	1679	0	3	1	主な什器：coffers, sea chest
16. Widow	1679	0	4	28	主な什器：close stouolle, shope chest
17. Widow	1679	0	4	27	主な什器：chest, cupbard, shelves
18. N/A	1680	0	3	15	主な什器：board
19. Silver maker	1680	0	0	6	
20. N/A	1680	0	0	3	
21. N/A	1680	0	1	20	主な什器：chest
22. Strong-master distiller	1680	0	2	4	主な什器：cask
23. N/A	1681	0	0	6	
24. N/A	1683	0	0	8	
25. N/A	1685	0	0	5	
26. Soap maker	1685	0	0	57	
27. Pewterer	1687	0	0	12	
28. Silkweaver	1687	0	0	17	
29. Tobacco cutter	1688	0	0	1	
30. N/A	1689	0	4	2	主な什器：chest, cupboard, dressing table
31. Wool-comber	1691	0	1	14	主な什器：shop chest
32. N/A	1694	1	2	131	主な什器：shelve, shop chest
33. Gun smith	1694	0	0	2	
34. N/A	1694	0	2	1	主な什器：case of drawers, coffin
35. Joiner	1695	0	2	1	主な什器：sea-chest, board
36. Cooper	1696	0	0	14	
37. Carpenter	1697	0	3	0	主な什器：coffin, partitions, shelves
総計		1	54	671	

出典：George and George (2005), *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, George and George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804* より作成。

なお、在庫品目数については、個別の個数ではなく、品目をカウントした。また品目の綴りは遺産目録集のままに記載した。

17世紀後半から18世紀初頭のイギリスにおける販売の実態と消費スタイル

表2 バッキンガムシャー遺産目録中の窓関連品・什器・在庫品目数

職業	公開年	窓関連品	什器	在庫品目	備考
1. Mercer	1663	0	0	9	
2. Mercer	1668	13	6	15	窓関連: Wyer grates to the Windows, shutting
3. Butcher	1670	0	1	0	主な什器: cupboard
4. Saddler	1676	0	1	42	主な什器: cloth furniture, 鞍の部品多数
5. Blacksmith	1681	0	1	18	主な什器: chest
6. Mercer	1687	0	0	5	
7. Cooper	1698	0	2	14	什器: board
8. Draper	1706	0	0	9	
総計		13	11	112	

出典: Reed (1988), *Buckinghamshire Probate Inventories 1661-1714* より作成。
品目の綴りは遺産目録集のままに記載した。

において店舗の記載があったのは139例中37例⁽¹⁵⁾ (20業種, 未亡人2, 不明15)であった。コックスによれば, 遺産目録の中でフレームと記載のある場合は窓越販売を行っていた可能性が高く, ガラス使用の普及が遅かったということだが, ブリストルにおいて窓関連品は37例中1例しか見られない。

つぎに, 表2のバッキンガムシャーでは, 159例中8例⁽¹⁶⁾ (6業種)に店舗の記載があった。その中で窓関連品については1例しか見られない。ただ, 唯一の記載である2. Mercer (服地商)には, 窓用格子戸 (Wyer grates to the Windows: 綴りは遺産目録集のまま) や錠戸 (shutting) という記載があり, これはコックスによれば典型的な窓越販売を行う際の店舗の備品である。また13にも及ぶ窓関連品が残されたことから, 大がかりな窓越しの販売が行われていたと思われる。錠戸が一品目として記載されたことから窓際に展示された商品を保護していた様子も窺える。服地商は3例みられるが, 窓関連品を記載したのは1例であることから, この地域では特定の職業が窓越し販売を行っていたわけではないこともわかる。

表3のストラトフォード・アポン・エイヴォンでは, 130例中9例 (7業種,

(15) George & George (2005), *Bristol Probate Inventories: 1657-1689*, pp. 1-186.

George and George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, pp. 1-48.

(16) Reed (1988), *Buckinghamshire Probate Inventories 1661-1714*, pp. 1-280.

表3 ストラトフォード・アポン・エイヴォン遺産目録中の窓関連品・
什器・在庫品目数

職業	公開年	窓関連品	什器	在庫品目	備考
1. Blacksmith	1676	2	9	4	主な什器：joyned table, cupboard. 窓関連：frame, curtains
2. Shoemaker	1681	0	2	3	主な什器：hogshead
3. Baker	1682	0	0	3	
4. Dyer	1683	0	3	9	主な什器：dyer racks, board, table
5. Skinner	1687	0	2	2	主な什器：table board
6. N/A	1688	0	0	1	
7. Barber	1691	0	0	16	理髪器具 (16)
8. Widow	1692	0	0	4	理髪器具
9. Shoemaker	1698	0	0	3	
総計		2	16	45	

出典：Jones (2003), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 21626-1699* より作成。
品目の綴りは遺産目録集のままに記載した。

未亡人1，不明1）に店舗の記載があった。⁽¹⁷⁾ここでは1. Blacksmith（鍛冶屋）のみ窓関連品の記載があった。品目にはカーテンが見られるため、ガラスが使用されたか錠戸であったかは不明であるが、窓際の装飾を重視していたことが窺える。これらの結果から、窓際販売に力を入れていた小売商は見受けられるものの、コックスの主張はさほど裏付けられなかった。

つぎに什器数を見てみよう。ブリストルは37例中22例に記載があった。什器数は2個記載されたものが8例ともっとも多く、最大は5個であった。品名では chest が最も多く13個、つづいて shelves が5個であった。パッキングムシャーにおいては8例中5例に什器の記載があった。その中で2. Mercer は6個の什器を残しており、窓関連品も残していた事を考え合わせれば、店舗内外の設備投資に力を入れていたことがわかる。ストラトフォード・アポン・エイヴォンでは9例中4例に什器の記載があった。ここでは1. Black smith が最も多い9個の什器を持っていた。いずれの3地域でも窓関連品を残している者は、多数の什器も所有しており、窓越しの販売や設備への関心はそれぞれの小売商の意識の高さによるものであったと考えられる。

(17) Jones (2003), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 2 1626-1699*, pp. 85-330.

これらのことから各地域において、店舗内での商品の陳列・展示を重要視する小売商がいたものの、それが広く行われていたというコックスの主張は裏付けられなかった。1650年代から1700年代の店舗の実態はコックスが言うような窓越しの直接販売と、露店や出店、行商といった他の販売形態や店内での展示販売が併存していた可能性が高い。窓越しの売買は、販売・購買が迅速・容易だという特徴があり、一方で多くの什器が備えられた店内での展示販売は、購買を楽しむことができ、消費者にとって買物を通じた余暇時間の使い方のオプションが増えたと考えられる。両方の販売方法に優劣はなく、販売速度や余暇時間を楽しむといったそれぞれの特徴から一定の合理性が見られる。この時期には、店舗の特徴を生かすことで、速さと余暇の楽しみを選ぶことが可能となっていたのである。

3 ケーススタディ：Joel Jelson の事例

本稿では、イギリスの傾向を分析するため3地域を選んだ。その3地域から主だった検認遺産目録の商品在庫の事例の一つを選び、その内容をケーススタディすることによって店舗と消費スタイルの実態を見てみたい。

事例の選出方法であるが、まず3地域から一つ代表例を選出することにした。そして表1, 2, 3の在庫品目の数が最も多かった事例を抽出した。バッキンガムシャーでは4. Saddler (鞍製造業)であったが、店舗在庫は大部分が鞍の部品であり、内容の分析には向かないと判断した。⁽¹⁸⁾次にストラトフォード・アポン・エイヴォンでは4. Dyer (染物業)が最多であったが、在庫の記載が9品目と非常に少なく分析に不向きであると思われた。⁽¹⁹⁾そのため131品目を残したブリストルの職業不明者 Joel Jelson (表1中32, Barton Regis 教区, 遺産目録の公開年：1694年)を検討することにした。⁽²⁰⁾

(18) Reed (1988), *Buckinghamshire Probate Inventories 1661-1714*, pp. 129-130.

(19) Jones (2003), *Stratford-Upon-Avon Inventories Vol. 2 1626-1699*, pp. 206-207.

(20) George and George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, pp. 16-

まず Jelson の検認遺産目録の店舗内に残された商品在庫すべてを表4にまとめた。⁽²¹⁾そしてそれを整理したのが表5である。表5では1の生地から6の照明関係までは2品目以上記載があったもの、7のその他は1品目のみ記載されたものに分類した。

まず、Jelson の職業であるが、これは記述がないものの、在庫の内容を見れば特定は可能である。表4の108には harbardasher ware（綴りは遺産目録集のまま）と記載されているため、Jelson の職業は服地小間物商 haberdasher であったと特定してよいだろう。

この事例の在庫の内容を見てまず目につくのは、店舗内の豊富な生地の種類である。96品目、37種類が記載されており、生地の種類だけではなく broad や narrow といった生地の幅も種類が多い。また 4. striped bays や 7. white Striped といったように生地の柄も記述されている。これらのことから、この店舗では幅広い商品の購入が可能であったことがわかる。また、それらの商品を購入するためには店内で時間をかけて選ぶ必要があり、17世紀後半には非常に幅広い商品の中から選択できる消費スタイルが存在していたことがこの事例から窺える。

生地他に、56. ネッククロス、89. 組紐などの服のパーツや衣類用アクセサリー、また48. ペチコート、87. シャツ、91, 92. 髪飾用ボタンなどの髪飾りにくわえて、4で分類した子供服なども在庫されていたことがわかる。それらを考えれば、この店舗が全ての衣類をそろえることができる総合衣料品店であったことが窺える。

また、衣類だけではなく、7のその他に分類した1品目のみ記載の事例の中には、29. ハンカチーフ、103. ボタンなどの衣類用品にくわえて、104. 松脂、109. グラス・カード・その他商品、110. ピン・ローブ他、111. 薬、112. 松脂・ホップ・砂糖・果物、120. 薬用箱などがみられる。衣料品店の店舗に果

20.

(21) なお、134. Shop chests のような什器も記載している。

表4 Joel Jelson (職業不明, ブリストル内 Barton Regis 教区, 公開年1694年) の商品在庫

	品目	品目	
1	13 yards of white blanketingstufte at 1s-4d p.yd	68	27 yds of buckrum at 10d
2	11 yards of Greene Lincy at 14d p. yd	69	11 yds 3/4 of Blew lincy at 10d p.
3	15 yards of blue ditto at 9d. p. yd	70	35 yds of Chees Cloth at 11d p
4	9 yards of Striped bays at 8d. p. yd	71	28 ells of broad brshateing at 11d
5	9 yards of Striped Lyncy at 9d p. yd.	72	14 ells towelling at 5d p ell
6	2 yards of Butchers apron Stufte at 7d. p. yd	73	19 ells of brbrowne Cloth 5d
7	9 ydsds 1/2 of white Striped Lyncy at 12d p. yd.	74	2 ells of rone Canvas at 14d
8	1 doz. Of gray hose	75	25 yds 1/2 of sad collrd linen at 7d p yd
9	9 pr. Of. Cloth Coll ditto at 10d pr	76	36 ells of br cloth at 9d
10	29 prs. of Childrens at 3pr	77	18 yds 1/2 of narrow chese cloth at 5d
11	3 yds 1/2 of broad Gray Cloth at 4s. 3d p. yd	78	1 whole ps. brownRowlers
12	2 yds 1/4 Sad Collrd ditto at 4s. 3d. p. yd	79	16 yds of narrow Cloth 3s p. yd
13	2 yds 1/2 ditto at 4s. p. yd	80	62 yds of coarse cloth 4d p. yd
14	7 yds 3/4 ditto at 3s.p. yd	81	16 yds of ash collrdfurstim.11d
15	2 yds narrow ditto at 2s. 4d. p. yd	82	15 yds sad collrd ditto at 9d
16	15 yds of Black Shallone at 12d. p. yd	83	42 yds of furstin at 10d
17	42 Ells broad Dowlas at 1s 4d p. ell	84	40 ells of wishteing at 10d
18	34 Ells Narrow ditto at 13d p. ell	85	1 doz. Of Childrens Caps
19	20 Ells 3/4 at 14d p. ell	86	1/2 doz. Of. Childrens shoes
20	1 ps ditto	87	6 shirts 2s 6d p ps
21	18 Ells of Ozenbrigs 9d p. ell	88	1 grose of hare buttens
22	6 Ells ditto 9d p. ell	89	6 grose of Gimp ditto 1s 10d p. G
23	60 Ells ditto 8d p. ell	90	3 grose of ditto 1s 4d
24	23 Ells of Hambrow dowlas 1s p. ell	91	1 grose of hare buttens
25	12 Ells dowlas 12d p. Ell	92	6 grose of hare buttens 9d
26	3 whole ps ScotchCloath	93	6 grose of loose buttens 10d
27	4 Ells 3/4 of Holland1s 10 1/2 p ell	94	3 lbs of Wax Candles
28	11 Ells of Holland 3s p. ell	95	3 ps of Bray 4s 6d
29	5 Silkehandkerheite at	96	2 lbs 1/2 of cloth Collid silk 18s gr.
30	9 yds 1/2 of Pantado1s. 4d p. yd	97	3 lbs 1/2 of ditto at 18s
31	7 yds of white Callico at 1s 4d p. yd	98	1 lb 1/2 of light ditto at 22s
32	10 ells of Holland at 1s. 8d p. ell	99	1/2 doz. Of brownethred at 2s
33	2 yards and an halfe Kentish 14d p. yds	100	1 doz of ditto at 2s.3d
34	13 yards of Samplars8d p. yd	101	9 lbs ditto at 2.0

35	4 yds 1/4 blue Check at 10d p. yd	102	10 lbs 1/2 of browne & whited br ditto at 2s 3d
36	9 pss of Blew petres at	103	9 lbs of loose threed at 2s p. lb
37	4 paire of drawes3s	104	1/2 hundred of Rosin
38	9 Ells wr Cloth at 10d p. ell	105	28 lamb black barrels2d 1/2 p.b
39	1 ps. of Striped Tick	106	in paper
40	3 yds 3/4 p/Glasedholland at 13d p. yd	107	in Spanish white & Choike
41	13 yds 1/4 of Collrd ditto at 10d p yd	108	in inckle, tapes, cotten& other habardasher wares
42	15 yds 1/4 of black Lyming at 2s p yd	109	in Glasses, Cards & in other Comodities
43	12 yds 3/4 dyed holland at 10d p. yd	110	in pins, Ropes & in Severall other goods
44	14 yds of Collrd ditto at 7d p yd	111	in Apothecaries Drugs
45	23 yds ofCollrd Glazed ditto at 10d p. yd	112	in Pitch, hops, graine, Sugar, fruitte& other comodities
46	6 yds of blacke ditto at 10d p yd	113	1 ps. of Cantelone at 5lyds1/2 at 8d p. yd
47	2 petticoats at 4s 8d	114	1 ps. ditto 47 yds 1/2 at ditto
48	28 yds. bluecollrdlriming 7d p. yd	115	1 ps. ditto 50 yds 1/2 at ditto
49	2 yds of blue ditto	116	1 ps. ditto 44 yds 1/2 at ditto
50	28 yds of collrd ditto at 6d p yd	117	4 remnants at 34 yds at ditto
51	19 yds ditto 7d p. yd	118	7 payre of brasse scales & beames & lwooken one
52	24 yds Callamincio at 2s p yd	119	in 102 lbs of lead weights
53	68 yds CollrdLincy at 11d p yd	120	17 1/2 boxes of pills 3s p. ps
54	65 yds ditto at ditto	121	9 lbs of brass weights
55	1 ps of Sarge at	122	1 bushell 1/2 of salt
56	14 neckcloaths at 8d p. ps	123	5 doz. of small boxes
57	16 ells 1/4 of broad Canvas at 13d p. ell	124	1 doz of large ditto
58	9 ells ditto at 8d p. ell	125	6 ditto
59	8 ells 3/4 of white sheating at 10d p. ell	126	in wooden measures
60	7 ells of broad Canvas at 8d p ell	127	all the shelves in the shop & odd boxes
61	67 yds 1/2 of Inderlins at 3d p yd.	128	in Shop Candlesticks
62	15 ells of broad Canvas at 9d. p. ell	129	15 Caskes
63	18 ells 1/2 of toweling 4d p. ell	130	The house with the appurtenances thereto belonging
64	9 yds ditto at 3d p yd	131	1grose of pipes at 11d p. qr
65	7 ells ditto at 4d p. ell	132	an Iron Grate to sett at the Shop window
66	59 ells of Canvas at 8d 1/2	133	in worsted to make 4 pss. of Cantelones
67	7 ells 1/4 of wr. Cloth at 8d p	134	3 shop Chests

出典：George and George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III:1690-1804*, p. 18.

なお127, 132, 134の窓関連品目、什器も含めた。
品目の綴りは遺産目録集のままに記載した。

表5 Joel Jelson の商品在庫の分類

分類	品目数	備考 (主な品目名など)
1. 生地	96	主な生地の種類※：1. Blanketting stuff, 2. Greene Lincy, 4. striped bays, 5. striped Lyncy, 6. Butchers apron stuffe, 7. white StripedLyncy, 11. broad Gray Cloth, 12. Sad Collrd, 16. Black Shallone, 17. broad Dowlas, 21. Ozenbrigs, 24. Hambrow dowlas, 26. ScotckCloath, 27. holland, 30. Pantado, 31. white Callico, 33. Kentish, 42. black Lying, 43. dyed holland, 48. blue colldrining, 52. Callaminco, 53. CollrdLincy, 55. Sarge, 57. broad Canvas, 59. white sheating, 61. Inderlins, 63. toweling, 68. buckrum, 69. Blew lincy, 70. Chees Cloth, 71. broad brsheetting, 73. browne Cloth, 75. collrd linen, 78. Browne Rowlers, 80. coarse cloth, 81. collrdfurstin, 96. C loth Cold silk.
2. 衣類	2	48. ペチコート, 87. シャツ.
3. 衣類アクセサリ	2	56. ネッククロス, 89. 組紐.
4. 子供用品	2	85. 子供用帽子, 86. 子供用靴. (10. 子供用生地)
5. 髪関係	2	91, 92. 髪飾用ボタン.
6. 照明関係	2	94. 蠟燭, 128. 店舗用燭台.
7. その他	23	29. ハンカチーフ, 103. ボタン, 104. 松脂, 105. 樽, 106. 紙, 107. スペイン製チョコレート, 108. インク・テープ・コットンなど, 109. グラス・カード・その他商品, 110. ビン・ロープ他, 111. 薬, 112. 松脂・ホップ・砂糖・果物, 118. 真鍮製秤・竿, 120. 薬用箱, 121. 真鍮錘, 122. 塩, 123. 小箱, 126. 木製メジャー, 130. 店舗備品, 131. バイブ.

出典：George and George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, p. 18.

※生地の種類の商品目名の重複は整理番号の小さい方を記載。10. 子供用生地は生地の商品目数に含まれる。

品目の綴りは遺産目録集のままに記載した。

物が置かれているのはいささか不自然だが、店主に食されたと考えられるほか、長時間の商品選びの途中で、グラスを用いて飲料とともに顧客に提供されたとも考えられる。

これらを考え合わせれば、この店舗は、衣類だけではなく、多様な商品を供給する形態であったことがわかる。また、グラスや果物などが商品ではなく、時間をかけて商品を選択する消費者に飲料などを提供するサービスに使われていた可能性も考えられる。すくなくとも17世紀後半のこの店舗では、消費者が豊富な商品のバリエーションの中から、その選択や購買を楽しむことが可能と

なっていたことが、この事例からは読み取れる。

4 むすび

本稿では、イギリスの検認遺産目録の中に残されている店舗を分析することによって、販売の実態と消費スタイルをみてきた。最後に、もう一度、論点を整理してむすびとしたい。

コックスによれば、近代初頭において多くの店舗で、窓は商品が通過する販売経路であり、重要視されていた。それはイングランドでガラス製造がはじまったのちも変わらず、地方都市の商店の遺産目録に格子戸か鎧戸が記載されていることからわかる。店舗の窓を通じた商品の展示販売は、顧客を引き付ける効果的な方法であり、また素早く販売が行えるため効率が良かった。小売商は、商品の幅を制限して販売をおこなうことも出来た。そのため、窓を通じた商品販売は、消費者よりも小売商に利点が多かったと思われる。

しかし今回、ブリストル、バッキンガムシャー、ストラトフォード・アポン・エイヴォンの3地域の検認遺産目録中の店舗を分析した結果からは、少し異なった実態が浮かび上がってきた。

まず、窓関連品と什器の分析からは、コックスが言うような窓を通じた直接販売と現在のウィンドーショッピング的な展示、くわえて店内の展示販売といった消費スタイルが併存していた可能性が高いことがわかった。それは1780年代に入っても、行商人や呼び売り商人等とさまざまな店舗形態による販売方法が、消費者のチャンネルとして併存していたことから窺える。それらの販売方法には優劣はなく、どちらかを選択することによって、消費や買物方法のオプションが増えたと考えられる。

また、服地小間物商であった Joel Jelson の検認遺産目録のケーススタディからは、17世紀後半のこの店舗では、消費者が多様な商品供給の中から、時間をかけて商品の選択を楽しむことができた実態が窺える。

店舗という空間では、マケンドリックらが主張する18世紀消費革命以前の17

17世紀後半から18世紀初頭のイギリスにおける販売の実態と消費スタイル

世紀から、多様な商品を供給する店舗における販売と、商品選択を楽しみながらの購買といった「生活を楽しむ」2側面がすでに存在していたと考えてよいだろう。17世紀後半から18世紀初頭の店舗は、ただ働く場所や商品を販売する場だけではなく、消費者が私生活をより豊かにするインターフェースとしての機能を果たしていたのである。

The Patterns of Consumption and Retails in England during Late Seventeenth and Early Eighteenth Century

—The Analysis of the Stock of Shop in Probate Inventories—

Yoshihiko Okabe

The purpose of this paper is to examine the patterns of consumption and retail during seventeenth and eighteenth century in England by analyzing “shop” in the probate inventories.

In the early modern period of England, retail through the window is likely as a sales channel. Even after improvement of glass technology, probate inventories in local area were registered many “lattices” and “grates”. The selling through the window is most attractively to attract customers, and also could speed up.

However, different fact is revealed by analysis of “shop” through probate inventories in Bristol, Buckinghamshire and Stratford upon Avon. From goods related window and furniture of the shop, both old fashioned retails and display selling like modern period coexisted as consumption patterns.

By the analysis of stock in the shop by Joel Jelson, haberdasher in Bristol, it revealed that consumer could choose products in the great variety of articles of sale in late seventeenth century.

The shop through seventeenth and eighteenth century was not only place of work, but also was interface for consumer to enjoy plentiful their own life.